

お年寄を一時

ねたきり老人短期保護事業スタート

市は、ねたきりのお年寄を一時的に養護施設で預る、「ねたきり老人短期保護事業」を今年からスタートさせました。

この事業は、ねたきりのお年寄をかかえている家庭を対象に、介護者が病気や事故などで、お年寄の介護ができないとき、一時的に預るといったものです。

介護者の状況

区分	介護者数	比率
配偶者	127人	31.9%
嫁	165	41.5
娘	34	8.5
兄弟姉妹	1	0.2
親戚	5	1.3
その他	31	7.8
記入なし	35	8.8
計	398	100.0

——と設けられたのが、この「ねたきり老人短期保護事業」です。

市福祉課は、ねたきり老人をかかえた家庭などは気軽に利用してほしいと呼びかけています。

介護者にも安らぎを

高齢化社会のすすむ現在、市内の60歳以上の老人人口は、2万1,241人で、富士市の人口の約10%を占めています。

市が、昨年7月に行った老人実態調査によると、市内のねたきり老人は323人

このうち女性が178人の55.1%に対して、男性が145人の44.9%で、若干女性が上回っています。

年齢的に多いのは、70歳から74歳

が65人、75歳から79歳が73人、80歳から84歳が69人で、これらで全体の64%を占めています。

ねたきり老人を介護する介護者の状況は、右の表を見ていただければわかるように、「配偶者」と「嫁」が圧倒的に多く、全体の73.4%を占めています。

このように、ねたきり老人を介護する介護者が限られているため、その苦労は相当なもの……。

そこで、介護者にも一時的にしろ近所づき合いや親せきづき合いなどの社会的交際や休息ができるように

新幹線富士駅設置を

二市二町で期成同盟会

新幹線富士駅の実現をはかるため5月26日、市役所で新幹線富士駅設置促進期成同盟会の設立総会が開かれました。

期成同盟会は、富士・富士宮・芝川・富士川の二市二町の議長や連合町内会長、商工会議所会頭等で構成。

会長に富士市長、副会長に富士宮市長、芝川町長、富士川町長が選ば

れました。

新幹線富士駅設置を一という声は、昭和45年ごろから高まり、47年に二市二町の連合町内会が母体となり、準備会を結成、活動を行ってきました。今後は、期成同盟会を中心



〔新幹線富士駅設置の強い声が…〕

に関係機関に働きかけていきます。